

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508836(P2009-508836A)

【公表日】平成21年3月5日 (2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-530626(P2008-530626)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 Q 9/04 (2006.01)

A 6 1 Q 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/36 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/895 (2006.01)

A 6 1 K 8/893 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/92

A 6 1 Q 9/04

A 6 1 Q 9/02

A 6 1 K 8/36

A 6 1 K 8/46

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/895

A 6 1 K 8/893

A 6 1 K 8/44

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日 (2009.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下を含む固形の美容組成物：

石けん及び／又は石けんではない界面活性剤、及び毛の制限活性剤。

【請求項 2】

石けん及び／又は石けんではない界面活性剤を、40から99質量％の量で含む、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

毛の制限活性剤を、0.05から15質量％の量で含む、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

毛の制限活性剤が、グリセロールモノチオグリコレート、N-アセチル-L-システイン、システアミン、カリウムチオグリコレート又はボーマンバークインヒビターから選択される、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

更に少なくとも一つの皮膚の強化活性剤を含む、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

皮膚の強化活性剤が、アルファヒドロキシ酸（AHA）である、請求項 5 に記載する組成物。

【請求項 7】

皮膚の強化活性剤が、組成物の質量により 0.1 から 2.0 の範囲の量で存在する、請求項 5 又は 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

皮膚のコンディショニング剤を含む、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

0.01 から 10 質量 % の皮膚のコンディショニング剤を含む、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

皮膚のコンディショニング剤がシアバターである、請求項 8 又は 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

シリコン及び / 又は鉱油を含む、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

少なくとも一つのシリコン及び / 又は鉱油が、組成物の 5 質量 % より多い量で存在する、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

少なくとも一つのシリコンが、組成物の 75 質量 % より少ない量で存在する、請求項 11 又は 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

少なくとも一つのシリコンが、C30-45アルキルメチコン及びC30-45オレフィン、ジビニルジメチコン / ジメチコンコポリマー及びC12-13パレス-23及びC12-13パレス、ステア rilジメチコン、ラウリルPET/PPG-18/18メチコン、エマルション形態のジビニルジメチコン / ジメチコンコポリマー、デクロペンタシロキサン、B15-PEG、メチルエーテルジメチルシランから選択される、請求項 11 から 13 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 15】

少なくとも一つの鉱油が、パラフィンワックス、パラフィンオイル、カルナバワックス、キャンドリアワックス、030ケライトオリーブ油から選択される、請求項 11 から 14 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 16】

デンプンを含む、請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 17】

以下を含む、毛の制限方法：

請求項 1 から 16 のいずれか 1 項に記載の固形組成物を、任意に水の存在下で、処理されるべき皮膚の領域上に適用する工程、及び

皮膚上の毛の成長を制限し、又は皮膚上の毛における少なくともいくつかのケラチンを減少させるのに十分な滞留時間の間皮膚上に組成物を残す工程。

【請求項 18】

組成物が、あらかじめ決められた時間の後に皮膚から除去される、請求項 17 に記載の方法。